



山梨県普及センターだより

編集／発行●山梨県総合農業技術センター

住所●甲斐市下今井1100 〒400-0105

電話●0551-28-2496 Fax.0551-28-4909

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/sougonoshi/index.html>

E-mail sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp



New

Brand Flower 甲府市の新たな
ブランドフラワーへの取り組み

「総合技術普及センター」

早春のスターチス産地である甲府市において、新たなブランドフラワーの創出を目指し、スターチスに次ぐ新品目の栽培が始まっています。技術普及センターと中北農務事務所では、JA甲府市や甲府市と連携して当地に適した新規品目「ランキュラス」と「テマリソウ」を選定し、その導入支援を行ってきました。

「ランキュラス」は早春を彩る有望商材として市場評価も高く、スターチスと同様の作型により栽培が可能なおことから、甲府市での生産に適した品目です。また「テマリソウ」は、甲府市の花である「ナデシコ」の一種であり、甲府市の新たな花き商材として期待されている新品種です。

昨年より県補助事業を活用して、種苗の導入、販促資材の作成等を行ってきており、来春から本格的な出荷が始まる予定です。種苗メーカーへの視察研修や現地検討会の開催等を通じて生産者の意欲も高まりつつあり、今後の生産面積拡大が期待されています。両品種とも市場出荷はもちろん直売所等での販売も見込まれており、新たな販路の拡大と甲府市のブランドフラワーとして産地PRにもつながる商材です。今後は、これら新品目の生産安定と新たなブランド化に向けた支援を継続的に行っていく予定です。



●現地検討会



●ランキュラス



●テマリソウ

普及活動第三者評価委員会を開催

普及センターは試験場に併設された3カ所の「技術普及センター」と4カ所の農務事務所の「地域普及センター」が一丸となり、農家等に対して技術や経営改善などの普及活動を展開しています。本評価委員会は、外部に分かり易く、活動の内容が理解される普及指導活動を構築していくため、普及指導活動の評価を幅広い視点から客観的に外部の方に評価して頂き、より効率的、効果的な普及活動を展開することを目的に実施してきました。

実施にあたっては、外部有識者や農業団体、生産者、消費者団体の代表者を委員に委嘱し、活動の課題、内容、方法などを説明した後、現地視察を行いました。

本年度は、平成21年度の活動の中で、中北地域普及センター、峡南地域普及センター、総合技術普及センターの「担い手対策」「ブランド米」の活動課題の評価を受けました。

評価の詳細につきましては、総合技術普及センターのホームページをご覧ください。次年度も引き続き開催していきます。



●委員会現地調査



●評価委員会の様子



RENAISSANCE OF AGRICULTURE IN YAMANASHI 2010

やまなし農業ルネサンス 普及センターの活動報告

アグリビジネスモデル・トライアル 支援事業の取り組み進む 「中北地域普及センター」



県では、地域の素材を活かした新しい商品の定着化や産地化を促進するため、農業協同組合や営農集団等が実施する、生産から流通、販売を一体的に捉えたアグリビジネスモデルに対する実践への支援を行っています。

中北地域普及センター管内においては、今年度本事業を活用し、巨摩野農業協同組合が、南アルプス市産貴陽の産地ブランドの強化を図るため、統一選荷箱や新しい選果方法などの検討・実施に取り組んでいます。

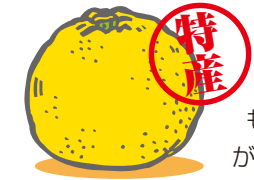


●イタリアン野菜検討会

また、北杜市内の有機野菜生産者等から構成される「イタリアン野菜研究会」が、イタリアン野菜など栽培事例の少ない野菜の栽培技術の検討と都内レストラン等へのサンプル提供やPR等に

特産品のゆずを利用した 地域活性化への取り組み

「峡南地域普及センター」



富士川町穂積地区は南向きの傾斜地で冬季でも温暖な気候に恵まれることから、ゆずの栽培が盛んに行われており、現在では関東でも有数の産地となっています。

地区の中には、特産のゆずを活用した都市農村交流イベントや、加工品の開発・販売に取り組む団体が複数存在しています。峡南地域普及センターでは、産地の維持や地域活性化に向けてこのような団体の活動支援を行っています。今年度は、ゆずの収穫ボランティアやオーナー制度、加工体験等の交流イベントの実施支援、また、ゆずを用いた新しい加工品の開発支援を行っています。今後も引き続き、交流イベントの拡充や新商品開発に向けた支援を行い、ゆず産地の維持・発展に取り組んでいきたいと思ひます。



●ゆずの収穫ボランティア



今年も果樹援農支援に向け 技術講習会がスタート！

「峡東地域普及センター」



●講座開講式



●熱心に聞き入る受講生

11月10日、笛吹市のスコレーセンターにおいて、平成22年笛吹市援農支援センター技術講習会開講式が行われました。この技術講習会は笛吹市の援農支援センターが主催するもので、市内の果樹農家からの労力要請に即応できる人材を育成するため、モモやブドウ等の管理作業についての知識や技術習得をねらいとしています。今回の技術講習会は果樹の剪定で昨年に続き2年目ですが、事前の申込者数は144名と前年の80名を大幅に上回る希望がありました。

16日からは、境川町でスモモの剪定講習会が始まりました。初めての方や多少経験のある方など様々ですが、講習会では全体説明の後班毎に分かれ、普及センターをはじめJAや担い手協など関係機関が連携し、指導にあたっています。

この技術講習会を始め、農業防除の講座など、援農支援センターの様々な取り組みが果樹農家の生産を支援することにより、果樹産地の維持・発展に繋がることが期待されます。

農業未経験者を対象に 農業基礎技術講習会を始めました！

「富士・東部地域普及センター」



●実践系農塾での講義



●学習農園での指導

実践系農塾

富士・東部地域普及センターでは2つの市、町と連携して次のような取り組みを始めました。

西桂町では、退職者や普段は家にいる方などを対象にした「学習農園」を今年9月から開始しました。ここでは、秋冬野菜を教材に栽培の実技や肥料・農薬の使い方などの基礎知識を学んでいます。

都留市では、近い将来就農を目指す若者が多く参加し、水稻を教材にして栽培技術や植物の基本生理などを体系的に学ぶ場として、「実践系農塾」を11月から始めました。

いずれの取り組みも、農業に興味を持ちながらもこれまで一歩を踏み出せなかった方を対象に基礎的な技術を学ぶ場を提供し、農業の楽しさを知ってもらい様々な形で農業に携わることが増えることを目指しています。

まだ始まったばかりですが、今後は通年での開催、開催市町村の拡大な



家畜の寒冷対策について

「畜産技術普及センター」



●コルツヒーターの利用事例



●ヒートマットの利用

●カーテンの利用（隙間を板で塞ぐ）

11～12月の気象予報では、11月下旬は気温の高い確率が50%と高めに推移しますが、12月前半より気温が低くなる確率が高くなり、夜間に急激に冷え込み始める時期でもあるため、寒さに弱い幼畜に対して十分な寒冷対策が必要です。適切な保温や飼養管理対策等を実施し、事故発生や損失を防ぐことが大切です。

冬季は、寒さのため畜舎を密閉しがちですが、糞尿からのアンモニアガス、メタンガス、窒素ガス等が充満し、肺炎などをひきおこす原因となるため、換気には十分気をつけて下さい。また、水道水が凍結して給水が制限されると、採食量の低下等がみられるので、ウォーターカップ等を点検して下さい。特にニップル式の飲水器は針弁部が凍結しやすいので注意して下さい。寒風が当たる給水管には断熱材を巻くなどして凍結防止策を取る



ブルーベリー高品質安定生産に向けた取り組み

本県農業振興の基本方針である「やまなし農業ルネサンス大綱」により、ブルーベリーはアウトウ等とともに、観光農業に適する品目として特色ある産地づくりを推進しています。しかし、栽培経験の浅い栽培者が多く、優良品種の導入、生理障害対策・病虫害防除（以下、生育障害）等が課題となっています。

そこで、主産地を形成するハケ岳南麓ブルーベリー組合（66名、9.5ha）を対象に、主要15品種の特性調査により販売方法に応じた優良品種を選定するとともに、全園を対象にした個別巡回により生育障害の原因究明と対策の徹底を図っています。

今後については、主要病虫害に対する農薬登録に向けたデータを整備するとともに、各種調査データや優良事例をもとに栽培指針を作成し、高品質安定生産に向けた取り組みを行っていきます。



●試食検討会

主要品種一覧（ハケ岳南麓地域）

区分	品種名	収穫期								
		6月		7月		8月				
		下	上	中	下	上	中	下		
市場出荷や摘み取り等に広く適する品種	デューク									
	ブルーヘブン									
	チャンドラー									
	コビル									
	レイトブルー									
検討中の品種	シェイラ									
	おおつぶ星									
	ブリジッタブルー									
摘み取りや加工等の特定用途の品種	アーリーブルー									
	スパータン									
	ブルーチップ									
	ブルーレー									
	パークレー									
	トロ									
	ネルソン									

生育障害の原因と対策

生育障害の原因		対策
高pH	酸度矯正不徹底、石灰質資材の施用	土壌分析、硫黄華散布、植え直し
着果過多	弱剪定、幼木期の着果	剪定の適正化、着果過多の枝の剪除
排水不良	水田転換園や伏流水停滞園が多い	高畝栽培、排水対策
凍害	秋枝の充実不良、耐寒性の低い品種	春肥・夏肥中心の施肥、品種選定
病虫害	ゴマダラカミキリ、カイガラムシ類、コガネムシ類幼虫、根頭がんしゅ病	薬剤防除、捕殺、寄生枝剪除、防虫ネット無菌苗の利用
その他	深植え、土壌乾燥、雑草との競合	植え直し、マルチの徹底、除草

損害を補てんし、農家経営を守る!!

果樹共済へのご加入をお勧めします。

●平成21年6月 降霜による損傷果(すもも)

本年は3月下旬の低温によるすもも等の凍霜害、長雨を起因とするぶどうの病害、猛暑による着色不良等の被害が県内の広範囲に発生し、園地によっては甚大な被害を受けました。また、近年は平成18年7月の峡東地域を襲った暴風や昨年の笛吹市を襲った降ひょうなど局地的な災害が増えています。

果樹共済はこうした災害による減収を補てんし、農家の経営を守る国の災害補償制度です。現在、NOSAI（農業共済組合）では平成23年産の特定危険方式（暴風、ひょう、凍霜害に限定）と総合短縮方式の加入推進を行っています。頻発する気象災害に備え、果樹共済へのご加入をお勧めします。

詳しくはお近くのNOSAI（農業共済組合）までお問い合わせください。



- NOSAI山梨中央 TEL.055(266)4411
- NOSAI峡中・南部 TEL.055(282)0443
- NOSAI北巨摩 TEL.0551(23)1111
- NOSAI富士 TEL.0554(45)6611